

金森 千春 氏 学位審査結果の要旨

主査：伊藤 誠二

副査：松田 博子、中邨 智之

本研究は、喫煙妊婦にみられる流・早産リスク増加の機序を、オキシトシンに対する感受性亢進という面から検討したものである。喫煙群は非喫煙群と比較して帝王切開時に得られた子宮筋標本の筋収縮に対するオキシトシン感受性が亢進しており、その感受性の亢進は喫煙本数ならびに呼気一酸化炭素濃度の増加と一致していた。さらに、妊娠子宮筋のオキシトシンの受容体タンパクの発現は喫煙群で有意に増強していたが、mRNA レベルは2群間で差がなかったことから、喫煙が mRNA のタンパク発現を修飾するマイクロ RNA に影響する可能性が議論された。本研究は、喫煙の流・早産リスク増加機序の一端を解明し、流・早産の予防に関する妊婦への啓発にも役立つ研究であり、学位を授与するに値するものである。